



小象の「元気ーで行ー」

生活習慣病防止へ！

市民と医療者の会



— 47 —

いきなりクイズです。痛風の原因物質である尿酸は、何からつくられる物質でしょうか？

①プリン体②ゼリー体③ケン。

一キ体（答えは最後にあります）

痛風は、足の親指の付け根が赤く腫（は）れて「風が吹くだけでも痛い」激烈な痛みを生じる関節の炎症疾患です。

痛風は、欧米においては大変古くから知られた病気の一つです。歴史上の人物には痛風で苦しんだ人が多く、マケドニアのアレクサンダー大王、神聖ローマ帝国皇帝カルロス五世、フランスの

ルイ十四世、芸術家レオナルド・ダビンチ、文豪ゲーテ、物理学者ニュートンなどなど、枚挙にいとまがあります。

一方、日本においては、痛風は江戸時代までは全く見られない病気でした。明治以降、戦後の1960年代になってから急激に増加しました。

痛風は関節の中で、尿酸と物理学者ニュートンなどなど、枚挙にいとまがあります。古くなつた尿中には、尿酸が固体となって出現します。高尿酸血症では関節液の中でも尿酸が結晶化形をした結晶ができてしまつます。この尿酸結晶に対する反応で攻撃を仕掛けすることで炎症が起ります。

一方、日本においては、痛風は江戸時代までは全く見られない病気でした。明治以降、戦後の1960年代になつてから急激に増加しました。

尿酸は、体内で分解され、そのまま体内に排泄（はいせつ）されます。動物性たんぱく質の摂（と）りすぎや肥満は、プリン体の摂りすぎを起こすことになります。また、痛風、高尿酸血症は多くの認められます。女性ホルモンに、腎臓からの尿酸の排出を促す働きがあるからです。人体の細胞が活動するためのエネルギー物質で、常に細胞内でつくられています。また、遺伝情報を伝える遺伝子は核酸という物質からできています。これが、尿酸の濃度が7mg/dLを超えると

痛風は、足の親指の付け根が赤く腫（は）れて「風が吹くだけでも痛い」激烈な痛みを生じる関節の炎症疾患で

食生活改善や運動を

尿酸とは「プリン体」という物質が体内で分解されてでます。また飲酒は尿酸の产生亢進（こうしん）と体外への排泄を促す働きがあるからです。これ

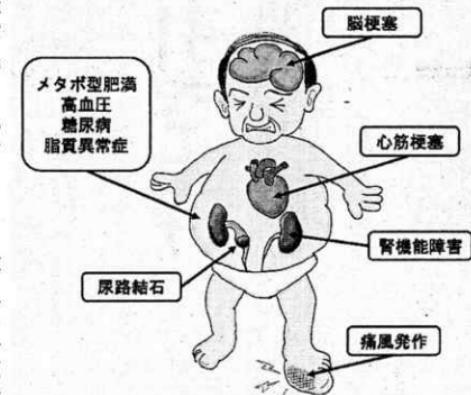
りすぎや肥満は、プリン体のため痛風も男性に圧倒的に多く認められます。女性ホルモンに、腎臓からの尿酸の排出を促す働きがあるからです。人体の細胞が活動するためのエネルギー物質で、常に細胞内でつくられています。また、遺伝情報を伝える遺伝子は核酸という物質からできています。これが、尿酸の濃度が7mg/dLを超えると

痛風、高尿酸血症で注意すべきなのは、尿酸が高い人は原因となります。尿酸は水に溶けにくい物質で、尿酸の濃度が7mg/dLを超えると



(小象の会理

事、ほたるのセントラル内田大学)



いる動物や植物の細胞内にも尿酸が固体となって出現します。高尿酸血症では関節液の中でも尿酸が結晶化形をした結晶ができてしまつます。この尿酸結晶に対する反応で攻撃を仕掛けすることで炎症が起ります。

一方、日本においては、痛風は江戸時代までは全く見られない病気でした。明治以降、戦後の1960年代になつてから急激に増加しました。

尿酸は、体内で分解され、そのまま体内に排泄（はいせつ）されます。動物性たんぱく質の摂（と）りすぎや肥満は、プリン体の摂りすぎを起こすことになります。また、痛風、高尿酸血症は多くの認められます。女性ホルモンに、腎臓からの尿酸の排出を促す働きがあるからです。人体の細胞が活動するためのエネルギー物質で、常に細胞内でつくられています。また、遺伝情報を伝える遺伝子は核酸という物質からできています。これが、尿酸の濃度が7mg/dLを超えると

痛風、高尿酸血症で注意すべきなのは、尿酸が高い人は原因となります。尿酸は水に溶けにくい物質で、尿酸の濃度が7mg/dLを超えると

痛風、高尿酸血症で注意すべきなのは、尿酸が高い人は原因となります。尿酸は水に溶けにくい物質で、尿酸の濃度が7mg/dLを超えると